

令和5年度 第5回 神戸市文化財保存活用地域計画協議会

1. 日 時 令和5年10月23日(月)10時00分～11時30分
2. 場 所 神戸市役所1号館14階 AV1会議室
3. 出席者
(委員) 7名 (欠席1名)
(オブザーバー) 兵庫県教育委員会文化財課 1名
(事務局) 文化スポーツ局文化財課 12名
(傍聴) 0名

【次第】

1. 開会あいさつ
2. 委員等紹介
3. 神戸市文化財保存活用地域計画の概要
4. 報告及び協議事項
(1) 令和4年度事業進捗報告
「文化財をまもる」/「文化財をいかす」/「文化財をつたえる」/「地域を特定した文化財の保存・活用」
(2) 重点事業進捗報告
「神戸歴史遺産」/「様々な連携による歴史的建造物の保存活用事業」/「史跡等の整備」
(3) 文化財の保存活用に関する課題についての協議
5. 閉会あいさつ

【配布資料】

- ・(資料1) パワーポイント資料
- ・(資料2) 神戸市文化財保存活用地域計画措置一覧表
- ・(資料3) 文化財所在アンケート調査集計結果

【議事録】

1. 開会あいさつ
2. 議題
(1) 令和4年度事業進捗報告
(事務局：地域計画概要・令和4年度事業進捗を説明)
(2) 重点事業進捗報告
(事務局：神戸歴史遺産・様々な連携による歴史的建造物の保存活用事業・五色塚古墳整備事業)
会長：かなり多岐にわたる内容だが、質問はあるか？
会長：性海寺の焼失という残念な報告があった。防犯防災の分野についてはスピードを上げて取り組まなければならないと思うが今後どう考えているのか？
事務局：防災について、消防局としては文化財防火デーや査察、文化財課としては性海寺の火災後に注意喚起文や特に建造物所有者への手引き書の送付で対応している。また、防災設備の点検等に対して助成を行っている。
会長：多様な取り組みがあり、他部局との協働により新規に取り組む措置もある。事業の進捗の中で重要

になってくるのは、他部局あるいは地域との連携がうまくいっているのかを確認することであり、協議会の役割としてもこの確認が重要である。この点について何か意見があれば。

委員：アンケート調査の結果について。回答者の認識不足によって所在無しとなっても、調査をしたら沢山出てくるといふ事例がある。まず文化財課から「こういうものも文化財」という発信は継続的にしていくことが大切だろう。また、自治会長の交代に伴って、回答内容にも差が生まれると思うので、意識づけの狙いも含め、何年かごとにアンケートを行うのがよいと思う。防災については、阪神・淡路大震災から30年経つので関連して色々なアクションができればよいと思う。性海寺の火災については、建造物だけでなく、古文書や美術品など動かせる文化財の防災へも意識を向けるべきである。

会長：おっしゃる通りである。自治会は1400以上あるのか？

事務局：アンケートの対象はニュータウン等を除外してこの数になっている。

会長：気が遠くなるような数で、膨大なエネルギーが必要となるが、所在確認は継続して取り組んでほしい。

委員：地域と文化財との関連を絶えず考えながら活動している。措置の83番「まちづくりに伴う事業の実施」で文化財の計画的な保存活用が重要とある。しかし、例えば中央区では「まちあるきマップ」や「伝統行事への参加」があるが、一時的な印象が強いのもう少し継続性がほしい。

また、措置の76番「関連文化財群及び文化財保存活用区域の検討」が気になる。地域としては、特に小学生との連携を重視している。今の小学生は、知識は豊富にあるが、実体験が不足している印象があるので、早い時期から体験を通して文化財に触れあってもらえる取り組みが大切ではないかと感じている。学校だけに任せるのではなく、地域としても継承の取り組みに協力するのはやぶさかではない。小さいうちから文化財に触れると文化財の堅いイメージを崩せるのではないか。

会長：この指摘は地域計画の中でも課題点だと感じている。学校教育、特に小学校との連携については今後の進捗報告の中に盛り込んでほしい。地域から見た文化財の保存活用は貴重な意見である。引き続き「(3)文化財の保存活用に関する課題について」の議事に移りたいと思うので、ご自由にご意見を。

(3) 文化財の保存活用に関する課題についての協議—議題(2)より継続して—

委員：防犯にはどのような取り組みをしていくのか？教育を通じた取り組みが防犯につながると感じたが、その他にどのような取り組みができるのか？

事務局：防犯については、神戸歴史遺産の助成メニューに防犯カメラの設置等を設けているが、もう少し踏み込んだ措置が必要であると感じている。地域計画の中では、災害時に消防局や警察との連携を盛り込んでいるが、個人情報保護の点から着手できていない。神戸市から注意喚起などはしているが、地域の方々の見守り等は欠如している視点だった。

会長：防犯の中で、特に窃盗については、無人の村堂などにある文化財の被害事例がある。その際に何が窃盗されたかが分からないと取り返すことが困難になる。まずは、所在把握を行い、できれば3次元データを取るなどして、オークション等に出品された際に特定できるようにするシステムが考えられるが、そこまでは措置に盛り込まれていないので、次回以降の課題として考えてほしい。

委員：神戸歴史遺産に興味を持った。申請する地域の方々へどのように周知する努力をしているのか？ま

た、どのような基準で認定しているのか？

事務局：認定要件は5つ示している。また、地域と関わりが深い区役所を通じて周知している。自治会へも広報している。

会長：地域との連携を主として、一定の学術性を担保した制度になっている。寄付額と同額を助成する仕組みもユニークでもあり、これまで助成が難しかった物件へも対応しており、類似の制度が各地で創設されている。

委員：観光事業者として、いかに神戸に賑わいを作り、地域を活性化させるかを日々考えている。神戸の観光については、関西万博や神戸空港の国際化もあり、海外や首都圏からの宿泊客を生み出せるような活用方法がほしい。例えば、朝一に立ち寄れる文化財とか。文化財を守るという観点からは、最近増えてきているが、祭りなどの有料観覧席や特別展示など自助の仕組みが必要ではと感じている。文化財をまもるという観点からは逆行しているかもしれないが、文化財を広くPRしていくことが大切だと感じる。

会長：「まもる」と「いかす」を両輪としていってほしいということ。神戸に1日滞在して文化財を巡ってほしいというのは、関連文化財群を考える上でも大切。宿題になっているので、一部協議してほしい。

委員：まず、防犯について。摩耶観光ホテルはドラマに出たことで人が来る。防犯カメラはオーナーの負担で設置しており、ツアーの参加費を還元している。ツアーでみせることで、抑止力にもなっている。部局間の連携については、摩耶山の天上寺跡で小学生の体験プログラムツアー(双六方式)を組んでいる。自然学習と歴史的なものを組み合わせると効果があるのではないかと。灘区水道筋商店街の灘区中央市場は文化を持っていると思っている。あと2年で100周年である。観光については、観光事業者と協力して実施した摩耶観光ホテルのオンラインツアーが好評であった。「マヤ遺跡ツアー」のように「摩耶」から「マヤ」に変えるなど見せ方によっては、多くの人が呼び込める。

会長：地に足のついた活動をされており、多くのヒントがあった。小学生の体験などは今の措置の中で検討できると思われる。ツアーは無秩序に多くの人がかかることを抑制することもでき、関連文化財群を考える中で検討するポイントである。神戸歴史遺産の金星観測記念碑とその周辺と共通する点があるかどうか？

委員：金星台やビーナスブリッジについては、多くの観光客が来る場所ではない。インバウンドを想定するなら朝の散歩や夜のビーナステラスでの食事等か。金星台については、地元向けに天文関連のイベントを継続的に開催している。観光利用は難しいかもしれないが、見せ方についてはボトムアップで検討の余地はあると感じた。今後ビーナステラスでは朝食を提供する事業者の開業もあるので、うまく利用し活性化に繋がられるよう考えている。

会長：様々な取り組みにどう持続性を持たせていくのが計画の中で重要なポイントになる。現在取り組まれている事例がどのように持続性を担保しているのかを協議会で聴取し展開していくのがよい。

委員：当館では土蔵を利用した特殊な保存環境で文化財を管理している。保存研修等では、土蔵は有効な保管施設であるとされているが、実際のところ土蔵は手がかかる。茅葺屋根の調査に関連して、土蔵がどの程度残っているのか？どのように使っているのか？そういった調査をしてほしい。データを取って保存庫としてどのように活用できるのかを発信できていければと考えている。

会長：保管施設としての土蔵や北区の状況に詳しいのではと思うが、いかがか。

委員：北区の土蔵の状況については分からないが、調査先には土蔵が多かった。別の自治体の事例だが、

自治体所有の土蔵を資料保管庫にしている事例がある。今後、温湿度の測定や虫害の調査等を検証する予定である。

会長：そういったこともぜひ計画の措置の中に入れてほしい。また、茅葺の調査をしているのであれば、建造物調査の一環として土蔵の現況や文化財の保存庫の可能性等も考えてほしい。また、茅葺に限ったことではなく、文化財の所在や保管環境もしっかりチェックしてほしい。

委員：インフラ整備や治山事業など、行政事業のことは市民があまり知らないので、掘り起しが大切になるので考えてほしい。摩耶山であれば、阪神大水害後の砂防工事や植林などが残っているが地元の方も知らない。

委員：映画のロケ等で文化財をよく使うが、映像制作者がロケ地を選ぶ基準としてちゃんと建物が管理されて生きていることが挙げられる。神戸の建物の今も使われていて大切にされている点を評価する映画監督もいる。建物の歴史を残した修理をお願いしたい。

モダン建築祭の準備時に感じたが、何に価値があるのか？何が面白いのか？を分かりやすい解説を作っただけだったらよい。建築物は観光資源として注目されているので、より深掘りした魅力をどんどん発信していくことが必要。

3. 閉会あいさつ

兵庫県教育委員会：地域計画の策定状況は令和4年末時点で、全国119件中9件が兵庫県下であり全国最多である。作成中も6件ある。県内の傾向として農村部が多く過疎が深刻である。県内の中でも特に神戸市の特徴として民間団体の活動が熱心である点が挙げられる。また、神戸歴史遺産についても全国的に注目される制度かと思う。

以 上